

第3次地域福祉活動計画 行動NO.5

世界が広がるちょっといいお話会

福祉教育実践プログラム集

社会福祉法人 名古屋市守山区社会福祉協議会

〒463-0048 愛知県名古屋市守山区小幡南1丁目24-10

電話：052-758-2011 FAX：758-2015

福祉教育実践プログラム一覧

NO	対象	実施月/時間	会場・実施メニュー	方法・詳細	ページ
1	小学校 3年生 (98名)	6月 (45分/1回)	フリースペース → (視覚障がい者お話会) フリースペース・廊下 → (アイマスク体験)	児童を2グループに分けて、 同日同会場で視覚障がい者の お話会とアイマスク体験をそれぞ れ2回実施 ※お話会の様子のDVD貸出可	p. 1
2	小学校 5年生 (46名)	11月 (45分/1回)	ふれあい室・廊下・ 体育館・階段 → (アイマスク体験)	児童を2グループに分けて、 アイマスク(ガイドヘルプ)体験を同 日同会場で2回実施	p. 2
		1月 (45分)	ふれあい室 → (視覚障がい者お話会)	児童を対象に視覚障がい者の お話会を実施	
3	小学校 5年生 (120名)	3月 (45分)	多目的室 → (視覚障がい者お話会)	児童を対象に視覚障がい者の お話会を実施	p. 3
4	小学校 6年生 (61名)	2月 (45分/1回)	集会室 → (車イス利用者お話会) 体育館 → (車イス体験)	児童を2グループに分けて、 車いす利用者のお話会と車い す体験をそれぞれ2回実施	p. 4
5	中学校 1年生 (230名)	9月 (75分)	体育館 → (視覚障がい者お話会)	生徒を対象に車いす利用者2 名と視覚障がい者1名のお話 会を実施	p. 5
		12月 (45分)	体育館 → (振り返りお話会)	生徒を対象に視覚障がい者1 名の前回の振り返りお話会を 実施。 ※振り返りお話会で使用したDVD の貸出可	

疑似体験プログラムは「怖かった」「かわいそう」という印象をあたえ

体験だけで終わってしまうと「怖かった」「かわいそう」というマイナスイメージだけが印象に残って
しまいますが、実際に障がいのある方の生活の話を聞くことによって、普段の様子や工夫を知ること
ができます。

＜福祉教育実践プログラム No. 1＞

対 象	小学校3年生 98名																				
実施月	6月																				
会 場	フリールーム（二クラス使用）																				
内 容	視覚障がい者のガイドヘルプと視覚障がい者のお話会を1日で体験																				
経 過	<p>4月初旬 学校より守山区社協へ福祉教育の依頼あり</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">アイマスクを名古屋市社協から借用</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6月初旬 事前打ち合せ・会場の見学 参加者：学校の先生・視覚障がい者・ガイドボランティア守山ききょう 守山区社協職員</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">事前学習 児童が各自、自宅で目をつぶって服を着る体験をする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6月中旬 当日（視覚障がい者のお話会・アイマスク体験）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">時間</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">講 師</th> <th style="width: 20%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">9：50～ 10：35</td> <td>①アイマスク体験</td> <td>ガイドボランティア守山ききょう</td> <td style="text-align: center;">49名</td> </tr> <tr> <td>②生い立ち・日常生活・便利なグッズ紹介・盲導犬</td> <td>視覚障がい者</td> <td style="text-align: center;">49名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">10：50～ 11：35</td> <td>①と同じ</td> <td>ガイドボランティア守山ききょう</td> <td style="text-align: center;">49名</td> </tr> <tr> <td>②と同じ</td> <td>視覚障がい者</td> <td style="text-align: center;">49名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">事後学習 児童が体験学習の感想文を書き、学校の先生が守山区社協に届ける。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>守山区社協がガイドボランティア守山ききょうに児童の感想文を届ける。 また、グループひばりに感想文の内容をカセットテープに録音してもらい、視覚障がい者である講師にカセットテープを届ける。</p>			時間	内 容	講 師	人数	9：50～ 10：35	①アイマスク体験	ガイドボランティア守山ききょう	49名	②生い立ち・日常生活・便利なグッズ紹介・盲導犬	視覚障がい者	49名	10：50～ 11：35	①と同じ	ガイドボランティア守山ききょう	49名	②と同じ	視覚障がい者	49名
	時間	内 容	講 師	人数																	
9：50～ 10：35	①アイマスク体験	ガイドボランティア守山ききょう	49名																		
	②生い立ち・日常生活・便利なグッズ紹介・盲導犬	視覚障がい者	49名																		
10：50～ 11：35	①と同じ	ガイドボランティア守山ききょう	49名																		
	②と同じ	視覚障がい者	49名																		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は児童の親も参加 ・グループひばりは、希望する視覚障がい者に広報なごや守山区版を録音して郵送、対面朗読、声の図書の貸出をしているボランティアグループ 																				

＜福祉教育実践プログラム No. 2＞

対象	小学校5年生 46名			
実施月	平成26年11月	平成27年1月		
会場	ふれあい室→廊下→階段→体育館→階段→廊下→ふれあい室	ふれあい室		
内容	アイマスク（ガイドヘルプ）体験	視覚障がい者のお話		
経 過	8月初旬	学校から守山区社協へ福祉教育の依頼		
		↓		
	10月下旬	事前打ち合せ・会場下見（アイマスク体験）		
		参加者：学校の先生・ガイドボランティア守山ききょう・守山区社協職員 ※先生にアイマスク体験をしてもらう		
		↓		
		事前学習		
		児童が各自、自宅で目を閉じて服を着る・靴下をはく体験をする、		
		↓		
	11月下旬	当日（アイマスク（ガイドヘルプ）体験） ※学校所有のアイマスクを使用		
		時間	内 容	講 師
	9:50～10:35	アイマスク体験	ガイドボランティア	24名
	10:50～11:35	（ガイドヘルプ体験）	守山ききょう	22名
	事後学習			
	児童が体験学習の感想文を書き、学校の先生が社協に届ける。 児童が次回のお話会に向けて、講師の視覚障がい者に質問内容を考える。			
	↓			
12月中旬	事前打ち合せ・会場の見学（視覚障がい者のお話会）			
	参加者：学校の先生・視覚障がい者・守山区社協職員 児童が書いたアイマスク体験の感想文をお話会の参考とするため視覚障がい者に見せる。			
	↓			
1月中旬	当日（視覚障がい者のお話会）			
	時間	内 容	講 師	人数
	9:50～10:35	生い立ち、日常生活、 便利なグッズ紹介、ジャガイモの皮むきの 実演、盲導犬歩行	視覚障がい者	46名
	事後学習			
	児童がお話会の感想文を書き、学校の先生が社協に届ける。 ↓ グループひばりに感想文の内容をカセットテープに録音してもらい、視覚障がい者である講師にカセットテープを届ける。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者お話会当日は授業参観日として設定 ・グループひばりは、希望する視覚障がい者に広報なごや守山区版を録音して郵送、対面朗読、声の図書の貸出をしているボランティアグループ 			

＜福祉教育実践プログラム No. 3＞

対 象	小学校5年生 約120名		
実 施 月	3月		
会 場	多目的室		
内 容	視覚障がい者のお話会		
経 過	1月上旬	学校より守山区社協へ福祉教育の依頼あり	
		↓	
	2月中旬	事前打ち合せ・会場の見学	
		参加者：学校の先生・視覚障がい者・守山区社協職員	
		↓	
	事前学習		
	児童が学校で先生の指導の下、アイマスク体験や点字体験をする。 その結果、疑問に思ったことなどを点字でうつ。		
	↓		
3月上旬	当 日	※学校が拡大機器を準備	
	時間	内 容	講 師
	10:50 ~ 11:35	日常生活のお話、便利な道具の紹介、ジャガイモの皮むき、盲導犬、児童が事前に点字で打った質問をその場で読みあげ答える。	視覚障がい者
			人数
			約120名
	※時間内で児童全員の質問に答えられなかったため、後日、講師が点字で回答し、児童へ渡す。		
	↓		
	事後学習		
	児童がお話会の感想文を書く。一部の児童は点字で感想文をうつ。 それを学校の先生が社協に届ける。		
	↓		
	社協が講師に児童が書いた感想文を届ける。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が事前に点字学習をしており、当日は点字を通して視覚障がい者と児童の交流ができる。 ・視覚障がい者にとって便利な道具を拡大機器に映し、テレビを通して児童全員に見せる。 ・お話会当日、講師のサポート役をガイドボランティア守山ききょうに依頼する。 		

＜福祉教育実践プログラム No. 4＞

対 象	小学校 6 年生 61 名																
実 施 月	2 月																
会 場	体育館と集会室																
内 容	車いす体験と車いす当事者のお話を 1 日で体験																
経 過	<p>10 月初旬 学校より守山区社協へ福祉教育の依頼あり</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>12 月初旬 事前打ち合せ・会場の見学 参加者：学校の先生・守山区社協職員</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>児童の事前学習 授業で福祉について学ぶ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※実施日前日、先生数人で社協から学校へ車いす運搬</p> <p>2 月中旬 車椅子当事者のお話会 当日</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">時間</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">講 師</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">9 : 40～ 10 : 25</td> <td>① 車いす体験（乗車、介助）</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">車いす利用者</td> <td>31 名</td> </tr> <tr> <td>② 生き立ち・日常生活・車いすについて ・皆さんにお願いしたいこと</td> <td>30 名</td> </tr> <tr> <td>10 : 45～</td> <td>①と同じ</td> <td>30 名</td> </tr> <tr> <td>11 : 30</td> <td>②と同じ</td> <td>31 名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>児童の事後学習 授業で振り返りを行う</p> <p style="text-align: center;">※車いすを社協へ返却</p>	時間	内 容	講 師	人 数	9 : 40～ 10 : 25	① 車いす体験（乗車、介助）	車いす利用者	31 名	② 生き立ち・日常生活・車いすについて ・皆さんにお願いしたいこと	30 名	10 : 45～	①と同じ	30 名	11 : 30	②と同じ	31 名
時間	内 容	講 師	人 数														
9 : 40～ 10 : 25	① 車いす体験（乗車、介助）	車いす利用者	31 名														
	② 生き立ち・日常生活・車いすについて ・皆さんにお願いしたいこと		30 名														
10 : 45～	①と同じ		30 名														
11 : 30	②と同じ		31 名														
その他																	

＜福祉教育実践プログラム No. 5＞

対 象	中学校1年生 約230名				
実施月	平成26年9月	平成26年12月			
会 場	体育館	体育館			
内 容	車いす利用者・視覚障がい者のお話	前回の振り返り「私の町の親切探し」			
経 過	8月初旬	学校から守山区社協へ福祉教育の依頼			
		↓			
	8月下旬	事前打ち合せ・会場下見（視覚障がい者お話し会） 参加者：学校の先生・視覚障がい者・守山区社協職員			
		↓			
		事前学習 生徒が各自、自宅等で目を閉じて服を着る体験をする			
		↓			
	9月上旬	当日（視覚障がい者・車いす利用者のお話し会） ※視覚障がい者のお話し会はプロジェクターを使用			
		時間	内 容	講 師	人数
		13:30～ 14:30	お話し会 ・障がいて何だろう？ ・日常生活のお話（プロジェクターを使用して日常生活で使用している道具を紹介）、盲導犬	・車いす利用者 ・視覚障がい者	20名
		事後学習 次回の振り返りのお話し会の時に寺西さんへの質問を書く。			
	↓				
11月下旬	事前打ち合せ（視覚障がい者の振り返りお話し会） 参加者：寺西美予・社協職員 寺西さんへの質問が書かれた手紙を先生から社協が受け取る				
	↓				
12月上旬	当日（視覚障がい者の前回振り返りお話し会（わたしの町の親切探し））				
	時間	内 容	講 師	人数	
	11:35～ 12:20	・生徒からの質問への回答 ・アクロス小幡内や周辺で配慮されている所を動画で紹介しながらクイズ形式で進める	視覚障がい者	230名	
	事後学習 冬休みの宿題として生徒が住んでいる身近な地域で視覚障がい者にとって配慮されているところを探す。				
	↓				
1月中旬	生徒が中部運輸局愛知運輸局主催：バリアフリー教室に参加 車いす・介助・アイマスク・移動介助等				
その他	12月上旬に実施したお話し会「わたしのまちの親切探し」で使用した動画には、視覚障がい者が次の5つの場所等を利用している様子が映されている。 ①小幡駅前の横断歩道、②アクロス小幡内エレベーター、③てすり、 ④小幡駅券売機、⑤ナフコのサービスカウンター				